

8月18日の日刊建設工業新聞に
弊社の日本語能力試験合格対策講
座の記事が掲載されました。

掲載ページ：2面

日建学院 日本語能力試験 対策講座を本格開始

難易度
N2～N5 専用機で体系的に学習

監理技術者講習などの法定講習を手掛ける日建学院（東京都豊島区、近藤伸彦代表取締役）は、外国人材向けの「日本語能力試験合格対策講座」を本格的に展開する。対象の試験難易度はN2～N5。学習専用機（ノートPC型）を活用しながら、文字・語彙（こい）、

た教材と、学習専用機「富士」での解説動画を組み合わせ、分かりやすく各レベルの受験対策の学習ができる。教材は「公式問題集」「演習問題集」「覚えておきたい文法・表現集」で構成。解説動画は日本語能力向上に役立つカリキュラムや分かりやすい講義となる。日本語の発音も重視し、問題文の読み上げには有名アナウンサーを起用した。専用機には解説動画が組み込まれており、分からない問題や間違えた問題を瞬時に検索できるシステムを搭載。教材だけを別売りで



専用機「富士」での解説動画と、教材を組み合わせ効率的な学習を実現

日本語を学べるため、試験

合格に向けた学習だけでなく、実際の職場で使える日本語力を身につけられる。

建設業は、深刻化する建設現場の人手不足を補つため、多くの外国人材を受け入れている。建設業で働く外国人材は、2025年10月時点で20万人を超え、今後さらに増える見通しだ。27年4月にスタートする「育成就労制度」では、入国前に日本語能力N5（一

番低いレベル）の合格あるいはそれに相当する日本語講習の受講が義務付けられており、その対応は急務になっている。

同社の西生一次前会長と共同で講座開発に携わった近藤社長は「映像教育で40年以上の実績がある日建学院グループが総力を挙げて、日本語教育の講座を作成した。現場での会話や安全確認、仲間とのコミュニケーションを通じ、多くの外国人材が日本で活躍できる環境づくりに貢献したい」と、今回の講座制作の狙いを述べた。